



皆さん大変お疲れ様でした！私自身 20 回も経験している森松展、実行委員長となり実際に会を進めていく上で至らない点も多々あったと思いますが、皆さんのおかげで大きなトラブルも無く進めることができました。ありがとうございます！次の実行委員の皆さんにはよりレベルアップした会となるよう、今回の反省を活かして準備して行きましょう！
実行委員長 森 直樹

おかげさまで
27周年
第27回
元気が出る森松展
Attack!

総来場者数

451名

(初日 192名 / 2日目 218名 / 最終日 41名)

たくさんのご来場誠にありがとうございました！



森松展、ご来場ありがとうございます！

森 直樹 (代表取締役社長)



第27回元気が出る森松展、盛会のうちに終了することができました。来場者数は昨年の389名を大きく上回り、451名でした。この場をお借りしまして、来場頂きました皆様に御礼申し上げます、皆様大変ありがとうございます。森松展は弊社的一大イベントだけに、多数の来場者様で会場が賑わい、熱気のある会です。また今回は初日の懇親会にて、弊社従業員である山田さんの所属する太鼓グループ、「新郊女子太鼓」10名の皆様に演奏を披露していただきました。和太鼓の響きが会場いっぱいになり、また皮膚を通して振動も伝わり、素晴らしい体験が出来ました。また今回は私自身が展示会実行委員長として関わり、裏方としても会を見ておりましたが、改めて一つのイベントを成功させるためには、一人ひとりの着実な仕事があることと強く感じました。来場されるお客様は森松展会場に入るまで、ある方は最寄り駅からタクシーで、ある方は車を運転して来場されます。その途中のタクシーの運転手さんや、森松の駐車場係、会場の受付、と一つ一つの対応で展示会の印象が出来上がってくるものと思います。もちろん27回という森松の経験の中でそれぞれ十分な対応に努めていますが、どこまで行っても完璧というものは有りません。常に一段上を目指して、より良い会にしていきたいと思います！

西国三十三所巡礼（3）

村田 恒夫（経理部）



今回の西国三十三所巡礼（3）は、西国三十三所巡礼日帰りバスツアー（クラブツーリズム）に申込みをして、第二十番札所の善峯寺、第二十一番札所の穴太寺、第二十二番札所の総持寺、第二十三番札所の勝尾寺へ行ってきました。今回の巡礼で印象に残ったところでは、第二十番札所の善峯寺にあった「遊龍の松」と呼ばれる五葉松です。樹齢600年以上といわれる国の天然記念物で、本堂横から多宝塔へとつづく石段の上に40mの幹が伸びていて見応えがありました。第二十三番札所の勝尾寺は、すべてに「勝つ」寺として勝ち運の信仰を集めてきた。現在も受験、病気、選挙、スポーツ、商売などあらゆる勝負の勝ち運、成功を祈って多くの人々が訪れる。勝ちダルマは、願いごとを念じて片目を入れ、願いごとが叶うともう一方の目を入れて寺に奉納するというもの。勝ちダルマがあちらこちらに奉納されていました。また、バスツアーとは別に、第一番札所の青岸渡寺へも行ってきました。青岸渡寺へは約500段の石段が続き、両脇にみやげ物店が並ぶ表参道を足を引きずりながら息切れ状態になり何度も小休止をしながら上りました。御朱印を頂き那智の滝を見学、昼食は、紀伊勝浦駅前まで移動し、マグロ定食（竹原：カウンターのみのお小さなお店）を食べました。勝浦に来た時には、竹原で生マグロです《以前にも、息子（西国巡礼）と一緒に2回来ていますが、竹原にて食事をしています。本当に美味しいマグロです》。第一番札所は、御朱印より生マグロが目的（楽しみ）です。今回、初めての西国三十三所巡礼バスツアー（集合は名古屋駅7:00で帰りは19:00着）を経験しましたが、ほぼ満席だったのには驚きました。実際に、ツアーに参加して感じたのは、御朱印は添乗員が代行してくれるので並んで待つことはなく、寺の駐車場の空き状況を心配することなく、慣れない道でストレスを感じることなく、食事場所の心配をすることなく快適なバスツアーでした。まだまだ、西国三十三所巡礼の旅は続く。



あすけん

伊東 義弥（特販部）



3年前、太りに太ってなんと86kgになってしまったことがありました。当時は、3か月周期で体重が増減し、そのたびに服のサイズ・スーツのサイズが違い色々苦勞をしましたが、どうしてもぶくぶくと太ってしまい、気付いた時には90kg間近…。さすがにヤバイと思い、一念発起してダイエットを始めました。当時のダイエットは、ジムに行ったり走ったりするわけではなく、とにかく食事制限をしました。炭水化物は一切取らず、夜は枝豆や豆腐のみといった生活を1年続け何とか72kgまで落とすことができました。-14kg痩せて、服のサイズも変わり落ち着いてきたころ、誰が見ても過剰な食事制限だったため、気を抜くとすぐにリバウンド…。そんなこんなで3年経過して77kgまで戻ってしまいました。いろんな方に会うたびに「太ったね」と言われて、これではまずいと思い、9月頭（本当に始めたばかりです…笑）からダイエットを再開。ただ単純に食べる量を減らして我慢をするというダイエットは、これまでも何度かやろうとしましたが頑張っても1ヶ月と持ちません。逆に食欲が増えて暴飲暴食をしてしまい失敗という結果が続いたため、今回はスマホアプリの「あすけん」を使ってみることにしました。「あすけん」は、まず目標となる体重を決めると、目標体重にするための摂取カロリーなどを1日単位で計算してくれます。また、そのカロリー計算を基に、いつまでに目標体重になるかを計算してくれるのです。私の場合、初めた時が76kg。目標体重は65kgに設定しました。計算上は、2020年8月に目標体重になるようです。これまでなんとなく太りそうなものを食べなかったり炭水化物を抜いたりしていましたが、この「あすけん」では写真をアップするか食べたものを記入するだけで、摂取カロリーや、不足している栄養素・お酒の量まで一目でわかるようになってきました。「見える化」したことによって、これに合わせようと無意識のうちに量を減らしたり、体によさそうなものを選ぶようになってきました。現在使い始めて2週間ちょっとで、体重は74.8kg。11か月後の2020年8月に果たして目標の65kgになっているのか?? そもそも1年続くのか??? 楽しみです。

郡上八幡

山口 和也（製造部）



お盆休みに、郡上八幡へ行ってきました。市街地奥の山頂にそびえる郡上八幡城。その城下町として発展してきた郡上八幡には、古い町並みやきれいな水路、水を生かしたポケットパーク（小公園）、全国名水百選の宗祇水、郡上八幡を総合的に紹介している郡上八幡博覧館、登録有形文化財となっている郡上八幡旧庁舎記念館などの観光スポットなどがあります。そして最も有名なのは郡上踊りです。郡上踊りとは、この地で行われる盆踊りで例年7月9日から9月3日まで計32夜を踊りぬく、日本一長い盆踊りです。なかでもお盆の4日間は「徹夜おどり」といわれ、夜が明けるまで踊り続けるそうです。なかなか見どころが多くある魅力的な観光地です。今回は、徹夜おどりの翌日の17日に天空の城「郡上八幡城」と風情ある町並み散策をしてきました。八幡城では、観光ガイドさんの話の中で、築城の際に当時一等の美人といわれた、およしという娘が人柱として生き埋めにされたという話や幕末には脱藩士45名により組織され凌霜隊と言う部隊が佐幕を貫き会津で、かの白虎隊と共に新政府軍に徹底抗戦した話に興味深く聞き



入りました。小京都と呼ばれる古い町並みでは、街中に張り巡らされている水路の所々に敷地内に引き込んだ小池に涼しげに泳ぐ鯉が印象に残りました。名古屋から約一時間半で行ける郡上八幡、また機会があれば訪れてみたいと思います。

木の山青年団とお囃子の思い出

山口 治剛（製造部）



私は大府市共和町、木の山地区の青年団に高校1年生から24歳まで所属しており、地元のお祭のお囃子太鼓や笛の練習を週三回、夜8時から10時まで練習をしていました。当時高校生の私は練習が終わると、先輩たちが終わって出てくるのを待ちます。すると先輩たちが「お前らしょうがないな～」と車で遅くまで営業している喫茶店まで連れて行ってもらい、ご馳走してもらったのが楽しみでした。また、本番のお祭では日本酒が振る舞われ、

それ以外のお酒は有りません。お陰で日本酒にはめっぽう強くなりました（笑）。その後私は転居し、青年団との関わりは無くなってしまいましたが、青年団も20年ほど前から規模が小さくなり、お祭保存会が立ち上がり共同で運営しているそうです。今後も形は色々変われど、地元の伝統を引き継ぎ、また地域同士の人の繋がりも充実したものであるよう願っております。



新郊女子太鼓&郊笛隊演奏



懇親会での演奏は初めてでしたが、皆様に楽しんでいただけたらと思い、新郊女子太鼓&郊笛隊らしさを大切に、かけあいを取り入れ演奏をさせていただきました。貴重な機会をありがとうございました。(山田)



今回、森松展の懇親会に当社社員の山田さんの所属しています新郊女子太鼓様に来ていただきました。終始パフォーマンスに圧倒されながらも会場は一体になり、大変盛り上がりました。(則武)

合宿

山田 圭子(森松産業)



年に1回、合宿を行っています。太鼓と笛の合宿です。宿泊メンバー、泊まれないけど日帰りで2日参加メンバー、1日だけ参加のメンバー、いろいろですが基本全員参加。10月の後厄の祭りを盛り上げる為、9月に1泊2日で全ての曲の最終確認をします。先生、太鼓メンバー、笛メンバー全員が朝から夕方までみっちり練習をします。基礎練習から始まり、太鼓曲、各回生曲、笛曲、強弱の叩き方や所作等全て確認する為、やることはいっぱいです。練習時には動画を撮り、映像を確認しながら夕食時にその日の反省等話し合います。真面目に話し合いますが最終的には宴会です。それが楽しみでもあるのですが。次の日はまた朝から夕方まで練習、好きじゃないとできません…。合宿を経て、気持ちの一つにして祭りを迎えます。厄年祭りの為に設立されたチームですが、今では演奏依頼等があり、いろいろな場所で演奏させていただいています。成人式、デイサービス、地域の催し、一斉太鼓祭り等種類は様々です。最近では縁あって、森松展懇親会、家族忘年会でも演奏させていただき、メンバーで構成を考え楽しんでいただけるように意見を出しあったりします。場の雰囲気を見て、その場で曲目変更も出来るよう予備曲も用意していくこともあります。そういう対応もできるように日ごろの練習もかかせません。今年も合宿があります。大変でもありますが、この歳で合宿なんてなかなか経験出来ないことなのかなと…。祭りが近づいてきたんだなぁと身の引き締まる思いです。